

主催：日本弁護士連合会

シンポジウム

民事訴訟における情報・証拠 収集の課題と展望

2025年

12月2日 火 18:00-20:00
(17:50接続開始予定)

弁護士会館2階講堂「クレオ」BC及びZoom配信

参加費無料・要事前申込（申込期限11/25）

「証拠開示制度が十分でない日本の民事訴訟において、必ずしも当事者の期待するような紛争の迅速、適正な解決が図られていないのではないか？」そのような現状認識をもとに、日弁連では、文書提出命令及び当事者照会制度改正並びに早期開示命令制度新設について提言を行い、とりわけ民事訴訟の早期段階における情報・証拠収集の拡充のための活動を行ってきました。

日弁連の両提言は、公益財団法人商事法務研究会の「証拠収集の拡充等を中心とした民事訴訟法制見直しのための研究会」において資料提出され、検討が行われております。同研究会は本年度中のとりまとめが予定されており、早期の情報、証拠収集制度拡充の実現に向け、学者、弁護士で弁護士実務の実情を踏まえた検討を行うため、シンポジウムを開催いたします。奮ってご参加ください。

プログラム

(1)基調講演「公正な裁判実現のために民事訴訟法に欠けているもの(仮)」
山本和彦氏（中央大学専門職大学院 法務研究科教授）

(2)パネルディスカッション

パネリスト

山本和彦氏、山内貴博会員（第一東京弁護士会）

葛山弘輝会員（第二東京弁護士会）

司会

松下真樹子会員（福岡県弁護士会）



以下のURL又は二次元コードよりよりお申し込みください

<https://form.qooker.jp/Q/auto/ja/sympminjisyusuu/jyohosyoko/>

お問い合わせ

日本弁護士連合会 法制部法制第一課

TEL: 03-3580-9939

FAX: 03-3580-9899